

最近話題の舌下免疫療法

アレルギー性鼻炎の治療には、スギ花粉症時期のマスク使用などで原因となるものを避ける、薬で症状をコントロールする、鼻の粘膜をレーザーや薬品で焼灼（しょうしゃく）する、そしてアレルギー免疫療法があります。

アレルギー免疫療法はアレルギーの原因となる物質のエキスを週1回皮下に注射することを203年間続けることにより、体が原因物質に反応しないようにする治療法です。治療が成功すればくしゃみ、鼻汁、鼻詰まりの鼻炎症状から解放され、服薬の必要もなくなります。しかし、注射は痛い、長年の通院が必要などの理由から最近はあまり行われなくなっていました。

そこで新しい治療法として、注射ではなく舌下に原因物質のエキスを投与し、自宅管理でできるようにしたのが舌下免疫療法です。平成26年10月から健康保険が適用になりました。皮下注射による免疫療法に比べ痛くなく、通院回数を減らすことができるため、より治療を受けやすくなっています。副作用も少なく良い治療法ですが、原因物質を体に投与するのでごくまれに全身症状（アナフィラキシーショック）が起こる可能性があります。

現在スギ花粉症に対するエキスとダニアレルギーに対するエキスが販売されています。処方可能な医療機関で舌下免疫療法を考慮すると良いと思います。

平成28年3月

中村 晶彦